

電通国際情報サービス

# 人事システムの導入拡大

## 金融機関向け機能搭載

電通国際情報サービス（ISID）が提供する人事給与システムの導入が金融機関で広がっている。各種資格の管理など金融機関向け機能を搭載。職員の人事情報を可視化し、人材の配置・育成に戦略的に活用できるのが特徴だ。銀行や信用金庫、証券会社など約20機関で導入実績があり、新たに13年4月から多摩信用金庫で稼働を開始する予定。

### 多摩信金で稼働決定

同社は、1100社提供するなど高い実績として専用機能を搭載した「POSITIV（ポジティブ・フィナ）ン」を提案している。以上人事システムを持つ。金融機関に対し「POSITIV

E-Financia  
l Edition  
（ポジティブ・フィナ  
ンシャルエディショ  
ン）」を提案している。

従業員ごとに証券外務員や生保募集人など各種資格の有無やその有効期限を管理。さらに、転勤の多さを考慮して「異動配慮メモ」「親族行員有無」などのチェック項目を事前に設定すれば、異動案作成時に警告メッセージが表示される。

「人材マップ支援ツール」を使って、業績やスキルなどの相関関係が分析される。

係を分析。各従業員別「人材マップ」による戦略に強化すべき能力を明確に分析を志向。また、あらかじめ、効果的な給与・賞与明細書や源泉徴収票などのWeb自己啓発の情報などを提供。「気づき」を与えることで、全体の営業力を底上げする。多摩信金では、「人事業務効率化を図る。」を強化していく。

一定額の保守料金で、税制対応など機能の拡張ができるのも強み。ISIDでは「人事情報を戦略的に生かす動きが広がっている」と、金融機関への提案活動を強化していく。